

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【技術・家庭（家庭分野）】

1 採択教科用図書

- 開隆堂

2 採択理由

（1）開隆堂は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 家庭科の目標を達成するために、自己と自分を取り巻く環境や、「これまで」「現在」「これから」の時間軸等、全体を俯瞰した多様な視点から学習を捉えさせることで、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができるような構成の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開するために、学習のまとまりごとに見通しがもてる目標を設定し、生活の中から課題を見つけて「何を学ぶか」を明確にして主体的に取り組める工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、学習者である中学生の等身大のキャラクターに本音を言わせることで、疑問やヒントを投げかけ、生徒が共感したり自分自身を再度見つめたりして学習に取り組みやすいよう工夫されている。

（2）開隆堂は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、生徒が自分の生活と関連させられるように、日常の食生活の学習では、調理済み食品を使用した調理の実践例を多く提示し、家庭で実践しやすくしたり、その調理を災害時の食事としても利用できたりするような工夫が見られる。
- 生徒が、これまでの学びや経験を生かすことについては、小学校で学んだ内容及び他領域や他教科との関連性について、各ページの定位置に明記されていることで、既習事項や他教科とのつながりを意識できるような工夫が見られる。
- 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、多様な家族の形についての図示や、ヤングケアラーやウェルビーイングなど時事問題を取り上げたり、災害に関する特集では想定される事態を時系列で掲載したりする工夫が見られる。

椎葉村教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、開隆堂の教科用図書が最適であるとして採択した。